

評価基準

評価項目を個別に評価した上で、総合評価を行った。

評価項目	評価区分
1. 研究プロジェクト（領域）の設定 および運営に対して	a+：特に優れて的確かつ効果的である a：的確かつ効果的である b：やや不的確・非効果的な部分がある（若干の工夫を要する） c：著しく不的確であり、効果的でない（著しい改善を要する）
2-1. 研究活動の状況と今後の見込	a+：特筆して望ましい研究展開を示しており、今後にもさらに期待できる a：良好な研究展開を示しており、今後にも期待できる b：やや望ましくない部分がある（若干の工夫を要する） c：著しく望ましくない研究展開である（著しい改善を要する）
2-2. 研究成果の現状と今後の見込	a+：成果として秀逸である。 a：成果として良好である。 b：成果として多少不足である。 c：成果として極めて不足である。
総合評価	A+：卓越した研究水準にある A：優秀な研究水準にある B：やや不足する部分がある（今後若干の工夫を要する） C：上記の段階には達していない（今後著しい改善を要する）

[← 前へ戻る](#)